



# Snapshotの管理

## Amazon FSx for NetApp ONTAP

NetApp  
September 02, 2024

# 目次

Snapshotの管理 .....	1
FSx for ONTAPボリュームの手動スナップショットの作成 .....	1
FSx for ONTAPボリュームのSnapshotポリシーの作成 .....	1
Snapshotからボリュームをリストアする .....	3
スナップショットから新しいFSx for ONTAPボリュームを作成 .....	3

# Snapshotの管理

## FSx for ONTAPボリュームの手動スナップショットの作成

FSx for ONTAPボリュームの手動スナップショットを作成します。スナップショットは、ボリュームのコンテンツのポイントインタイムバージョンです。

Snapshotはボリュームのリソースであり、変更されたデータのためだけにスペースを消費するデータを瞬時にキャプチャします。データは時間の経過とともに変化するため、Snapshotは通常、古くなるにつれて多くのスペースを消費します。

FSx for ONTAPボリュームではジャストインタイムのcopy-on-writeが使用されるため、Snapshot内の変更されていないファイルがボリュームの容量を消費することはありません。



スナップショットはデータのコピーではありません。データのコピーを作成する場合は、FSx for ONTAPのバックアップ機能やボリュームレプリケーション機能の使用を検討してください。

開始する前に

スナップショットを作成する必要がある ["リンクの関連付け"](#) ます。既存のリンクがない場合は、["リンクの作成"](#)を参照してください。ファイルシステムにリンクを関連付けるには、[アカウント名]\*の[リンクの関連付け]\*をクリックします。リンクが関連付けられたら、この操作に戻ります。

手順

1. にログインします。 ["Workload Factoryコンソール"](#)
2. で、[ストレージインベントリに移動]\*を選択します。
3. FSx for ONTAP タブで、ボリュームを含むファイルシステムの3つのドットメニューをクリックし、Manage \*を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、\*[ボリューム]\*タブを選択します。
5. [ボリューム]\*タブで、保護するボリュームの3つのドットメニューを選択します。
6. 、[ Snapshot ]を選択し、[ Snapshotからのボリュームの作成]\*を選択します。
7. [Create volume from a snapshot]ダイアログの\*[Snapshot name \*]フィールドに、Snapshot名を入力します。
8. [作成 ( Create ) ]をクリックします。

## FSx for ONTAPボリュームのSnapshotポリシーの作成

FSx for ONTAPボリューム用のカスタムSnapshotポリシーを作成します。Snapshotポリシーは、ボリュームのSnapshotの作成方法を定義します。

タスクの内容

FSx for ONTAPに組み込まれている3つのスナップショットポリシーとは異なるカスタムスナップショットポリシーを作成できます。

- default
- default-1weekly
- none

デフォルトでは、すべてのボリュームがファイルシステムのSnapshotポリシーに関連付けられ default ています。ほとんどのワークロードでこのポリシーを使用することを推奨します。

ポリシーをカスタマイズすると、スナップショットを作成するタイミング、保持するコピーの数、およびスナップショットに名前を付ける方法を指定できます。

#### 開始する前に

- Snapshotを使用する前に、Snapshotの容量について次の点を考慮してください。
  - ほとんどのデータセットでは、20%の容量を追加すれば、Snapshotを最大4週間保持できます。データが古くなるにつれて、リストアに使用される可能性は低くなります。
  - Snapshot内のすべてのデータを上書きすると、ボリューム容量が大量に消費されます。これは、ボリューム容量のプロビジョニングに影響します。
- カスタムのSnapshotポリシーを作成するには、が必要で **"リンクの関連付け"**。既存のリンクがない場合は、**"リンクの作成"**を参照してください。ファイルシステムにリンクを関連付けるには、**[アカウント名]\*の[リンクの関連付け]\***をクリックします。リンクが関連付けられたら、この操作に戻ります。

#### 手順

1. にログインします。 **"Workload Factoryコンソール"**
2. で、**[ストレージインベントリに移動]\***を選択します。
3. FSx for ONTAP タブで、ボリュームを含むファイルシステムの**3つの**ドットメニューをクリックし、**Manage \***を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、**\*[ボリューム]\***タブを選択します。
5. **[ボリューム]\***タブで、スケジュールされたSnapshotで保護するボリュームの**3つの**ドットメニューを選択します。
6. **[スナップショット]**の順に選択し、**[スナップショットポリシーの管理]\***を選択します。
7. Snapshotポリシーの管理ページで、**\*[新しいSnapshotポリシーの作成]\***を選択します。
8. Snapshotポリシー名\*フィールドに、Snapshotポリシーの名前を入力します。
9. オプション：**[説明]\***フィールドに、Snapshotポリシーの説明を入力します。
10. **[スケジュール]\***で、Snapshotを作成するタイミングを選択します。たとえば、毎分、毎時などです。  
複数の周波数を選択できます。
11. **[コピー数]\***で、保持するコピー数を入力します。  
コピーの最大数は1、023です。
12. オプション：**[命名規則]\***で、ポリシーの**\*プレフィックス\***を入力します。
13. **\*保持ラベル\***は自動的に入力されます。

このラベルは、SnapMirror（レプリケーションラベル）を参照します。ソースファイルシステムからター

ゲットファイルシステムへのレプリケーション用に、指定したSnapshotのみを選択するために使用されま  
す。

14. [適用 (Apply) ] をクリックします。

## Snapshotからボリュームをリストアする

削除または破損したファイルがボリュームに含まれている場合は、スナップショットからFSx for ONTAPボリュームをリストアします。

タスクの内容

この処理は、Snapshotから新しいボリュームにデータをリストアします。

開始する前に

Snapshotからボリュームをリストアできるのは、ボリュームの既存のSnapshotコピーがある場合のみです。

この処理を完了するための十分な容量があることを確認してください。

手順

1. にログインします。 "[Workload Factoryコンソール](#)"
2. で、[ストレージインベントリに移動]\*を選択します。
3. FSx for ONTAP タブで、ボリュームを含むファイルシステムの3つのドットメニューをクリックし、  
Manage \*を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、\*[ボリューム]\*タブを選択します。
5. [ボリューム]\*タブで、Snapshotからリストアするボリュームの3つのドットメニューを選択します。
6. 、[ Snapshot ]を選択し、[ Snapshotからボリュームをリストアする]\*を選択します。
7. [Snapshotからボリュームをリストアする]ダイアログの\*[Snapshot名]\*フィールドで、ドロップダウンメ  
ニューからリストアするSnapshotを選択します。
8. [リストアされたボリューム名]\*フィールドに、リストアするボリュームの一意の名前を入力します。
9. [\* リストア] をクリックします。

## スナップショットから新しいFSx for ONTAPボリュームを作成

スナップショットから新しいFSx for ONTAPボリュームを作成し、ポイントインタイム  
リカバリを可能にします。

タスクの内容

Snapshotは、ある時点で作成されたFSx for ONTAPボリュームの読み取り専用イメージです。Snapshotから  
新しいボリュームを作成すると、ボリュームサイズに関係なく、ボリューム全体のコピーが数秒以内に作成さ  
れます。新しく作成されたコピーは新しいボリュームを表します。

開始する前に

Snapshotからボリュームを作成する前に、次の制限事項を考慮してください。

- 権限モデルの変更：この処理を使用してNetwork-Attached Storage（NAS；ネットワーク接続型ストレージ）プロトコルタイプを切り替えると、セキュリティ形式で提供される権限モデルも切り替える可能性があります。ファイルアクセス権限の問題が発生する可能性があります。この問題は、NASクライアントツールを使用して権限の設定を行う管理者アクセスでのみ手動で修正できます。
- ボリューム消費量の増加：Snapshotからボリュームを作成すると、2つの独立したボリュームが作成され、どちらもホストファイルシステムの容量を消費します。

#### 手順

1. にログインします。 "[Workload Factoryコンソール](#)"
2. [Storage]で、\*[Go to storage inventory]\*を選択します。
3. FSx for ONTAP タブで、ボリューム**Snapshot**が含まれているファイルシステムの**3**つの点のメニューをクリックし、[管理]\*を選択します。
4. ファイルシステムの概要で、\*[ボリューム]\*タブを選択します。
5. [Volumes]タブで、ボリュームを作成するSnapshotがあるボリュームの3つのドットメニューをクリックします。
6. 、[ Snapshot ]を選択し、[ Snapshotからのボリュームの作成]\*を選択します。
7. [Create volume from a snapshot]ダイアログで、Snapshot名を入力します。
8. [作成（ Create ） ]をクリックします。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。